

地域子供の未来応援交付金交付申請とりまとめ表(第19回目)

都道府県名	市区町村名	区分	事業概要
(1) 実態調査・分析及び支援ニーズに応える資源量の把握、支援体制の整備計画策定			
北海道	豊浦町	1 実態調査・分析 計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学から小中高生の保護者約260世帯(全数)及び小学生、中学生、高校生のいる世帯の年長者の子ども約190人(全数)、合計450人に対し、町子ども・子育て支援会議(保護者代表、小学校代表、保育施設代表、保健師代表、学識経験者等)において決定した調査項目(保護者の経済状況、抱える悩み・課題等)についてアンケート調査・分析を実施する。(回収率80%を想定) ・庁内関係課(生涯学習課、総合保健福祉施設等)に対する調査を行い、庁内の資源量を把握するとともに、支援機関等(社会福祉協議会、NPO、自治会連合会等合計5団体)に対するヒアリング調査を行い、地域の資源量の把握を行う。 ・調査・分析の結果を踏まえ、町子ども・子育て支援会議において、具体的な支援についての計画である「子どもの貧困対策計画」を策定する。 ・策定した計画に基づき、令和2年度以降、計画推進体制の構築を図るとともに、子どもたちの支援に結びつく事業を実施していく。
兵庫県	丹波市	1 実態調査・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生543人、中学2年生525人、各児童生徒の保護者1,068人、小学1年生の保護者481人、合計2,617人(全数)に対し、市生活困窮者支援対策委員会(庁内関係課:福祉部門・教育部門他)において決定した調査項目(保護者の経済状況、子供との関わり方・課題等 子供の生活習慣や環境、教育環境等)についてアンケート調査・分析を実施する。(回収率90%を想定) ・庁内関係課(子育て支援課、教育委員会部局等)に対する庁内調査を行い、庁内の資源量を把握するとともに、支援機関(子ども食堂実施団体、市内社会福祉法人連絡協議会等25団体)に対するアンケート調査を行い、子どもの貧困対策に関する課題や支援体制について地域の資源量を把握する。 ・調査・分析の結果を踏まえ、令和2年度に策定が完了する丹波市地域福祉計画に子どもの貧困対策の推進に向けた取組の具体的施策を明記する。
(2) 子供たちと「支援」を結びつける事業・連携体制の整備			
宮崎県	小林市	2 子供支援事業・連携体制の整備	<p>子供たちと「支援」を結びつける事業・連携体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に策定した「小林市子どもの未来応援推進計画」では、地域の将来を担う子どもたちの育ちや成長を守り、家庭の経済状況等により、養育環境に格差が生じ、貧困が世代を超えて連鎖することがないように市民及び関係機関が協働して支援を行う体制整備の構築を図るとしている。これらを具現化するため、庁内関係課、小中学校校長代表、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会、保育園・幼稚園関係者、NPO等で構成する「小林市子どもの未来応援推進協議会」を設置し、関係団体間の連携を深化し、子どもの貧困に係る各種事業の進捗管理や点検を行う。 ・子どもと支援団体をつなぐコーディネーターを配置し、子ども食堂等を実施する団体とネットワークを構築し、学習支援の実施など居場所づくりを充実させる。 ・このほか、支援が必要な子どもを把握し関係機関へ情報提供を行う。